

アンケート結果を受けての改訂のポイント

- ・ 読書層を意識した編集にする
- ・ 迷惑メールを広く捉え、その中で狭義の迷惑メールについての記述は残す
- ・ 迷惑メールの実態がより分かるものにする
- ・ 技術に関する記述はまとめる
- ・ 継続的なデータはまとめる
- ・ 最新動向はまとめる
- ・ いろんな立場の多くの関係者の執筆協力を得たい

等を踏まえ構成は下記編成をたたき台（素案）にして、今後、幹事会で揉んでいきたい
名称「迷惑メール対策白書 2018」

・ 第 1 部 最新動向

- 直近 1 年間の迷惑メールに関する動向（2 部 3 部 4 部から）をまとめる。
- 関連する出来事の時系列紹介。重大事案の特集など。
- 量的・質的变化、新しい傾向などの紹介。
- 対策技術の普及動向なども紹介。

・ 第 2 部 迷惑メールとは

- 想定読者層は一般メール利用者、迷惑メールの相談を受ける人たちなど
- 内容は迷惑メールについての一般向け解説
- 本書のキモ部分。迷惑（な）メールについて、一般利用者目線で SNS、SMS なども含めた実例を紹介し、解説する。その中で特電法違反、特商法違反等法令のもの、そうではないが架空請求、フィッシング、チェーンメール、SNS、SMS など多数掲載しそれぞれ、解説する。世の中に出回っている迷惑なメールの中で法律に違反するものがないものがあることを説明する。
- 迷惑メール送信業者の目的や手口なども紹介。
- メール利用者が取るべき対策を紹介し実用的なものにする。

・ 第 3 部 関連団体事業者による取組

- 迷惑メール対策推進協議会、関連事業者、関連団体、行政などによる各種取組を紹介する。

・ 第 4 部 技術編

- 想定読者層はメール関連技術者
- 内容は迷惑メール対策の関連技術の教科書的解説とし、新技術が登場すれば追記するが、毎年の変化はそれほどない。各技術の細かい導入方法については導入マニュアルを参照させる。

・ 第 5 部 データ編

- 過去からのデータに直近一年分を追記して累積してゆく。
- ・ 執筆、助言その他の協力者を一覧とする。

以上